

DDK Ltd.

CE01-#16X-1416コンタクト圧着工具

取扱い説明書

357J-13426

発行日：1993年 4月 6日

資料番号：TC-229

改版	年 月 日	改版 No.
B	1993.11. 2	3741
C	2010.9.15	T-2764

目 次

	頁
1. 概説	2
2. 適用電線, 適用コンタクト	2
3. 各部名称	2
4. 圧着準備	3
5. 圧着作業	3～5
6. 管理項目	6
7. メンテナンス	6

1. 概 説

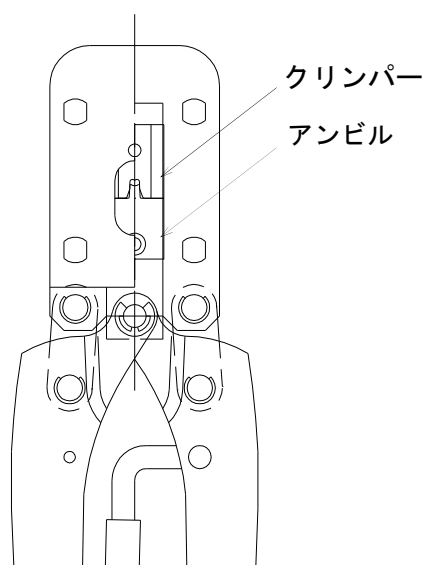
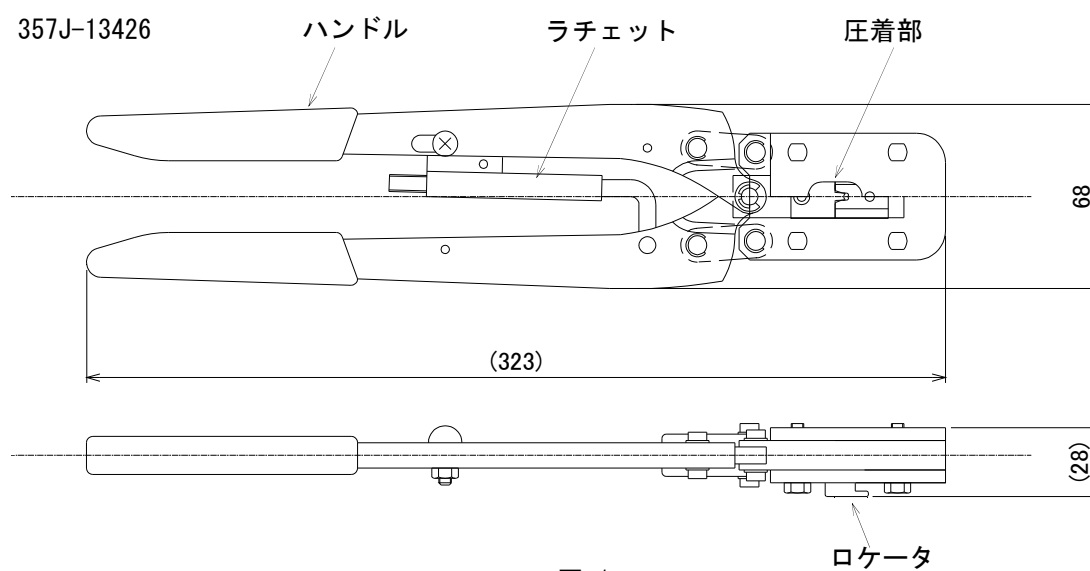
本工具は、予め外被むきした電線とコンタクトを圧着する手動工具です。
ラチェット機構が付いているので安定した圧着ができます。

2. 適用電線, 適用コンタクト

表－1

工具品名	適用コンタクト	適用電線		
		サイズ	被覆外径	芯線断面積
357J-13426	CE01-#16P-1416 CE01-#16S-1416	AWG14	φ 3.3	2.0mm ²

3. 各部名称



4. 圧着準備

1) 電線準備

電線外被を図-3 の寸法でむき出して下さい。

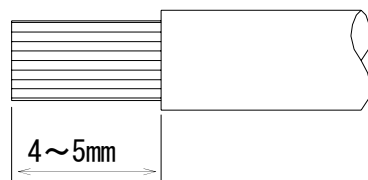


図-3

注) 芯線切れや傷がないことを確認して下さい。

芯線乱れは矯正しておいて下さい。

2) コンタクト準備

コンタクトがリール状の時はコンタクトを変形させない様注意しながら、ばらして下さい。

5. 圧着作業

1) ハンドルの開放

ハンドルはラチェットが外れるまで締め付けると、開くことができます。

いっぱい開いて下さい。

注) 解放後、ハンドルが固定されていないので手で開いて保持して下さい。

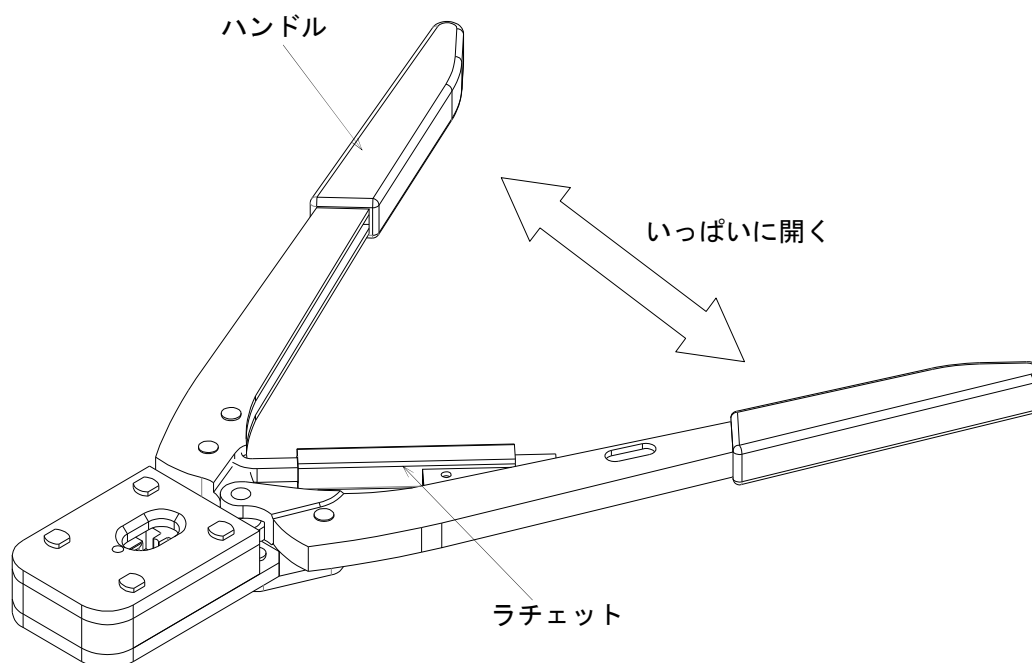


図-4

2) コンタクトのセット

4項で準備したコンタクトを図-5の方向から、図-6の様にセットして下さい。

この時、バレル開口部が上を向く様セットして下さい。(図-7参照)

注) コンタクトをセットしている間、ハンドルを手で開いて保持して下さい。

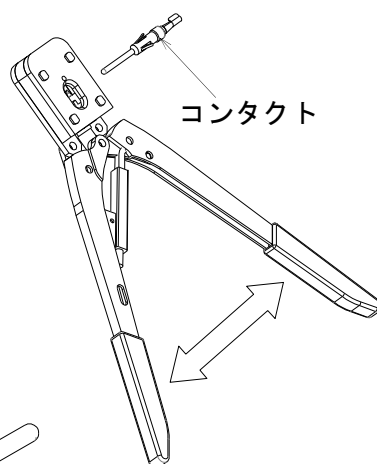


図-5

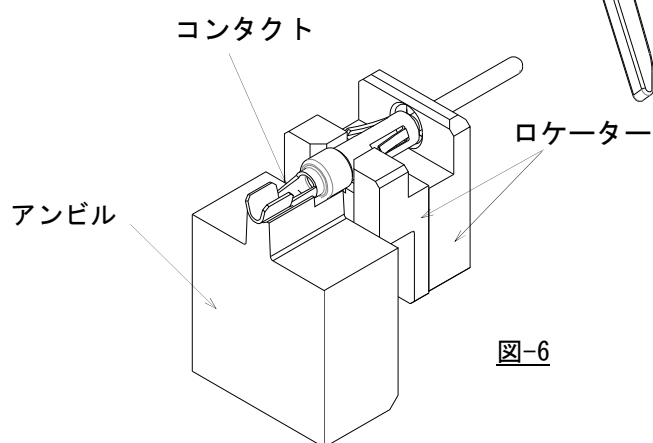


図-6

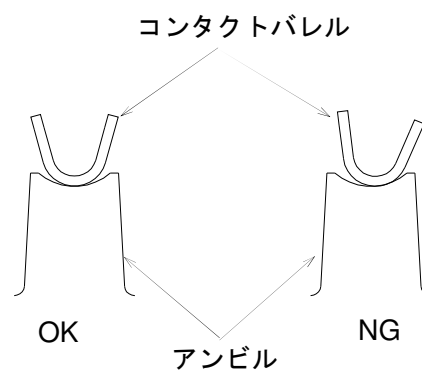


図-7

3) 電線の挿入

4項で準備した剥き出した電線の先端を、図-8の様にクリンパー側に挿入し電線ストッパに突き当てて下さい。(図-8参照)

注) 電線を電線ストッパに強く当て過ぎると、電線が曲がり圧着不良の原因になりますので、軽く突き当てて下さい。芯線乱れは、矯正してから挿入して下さい。電線を挿入する時もハンドルを手で開いて保持して下さい。

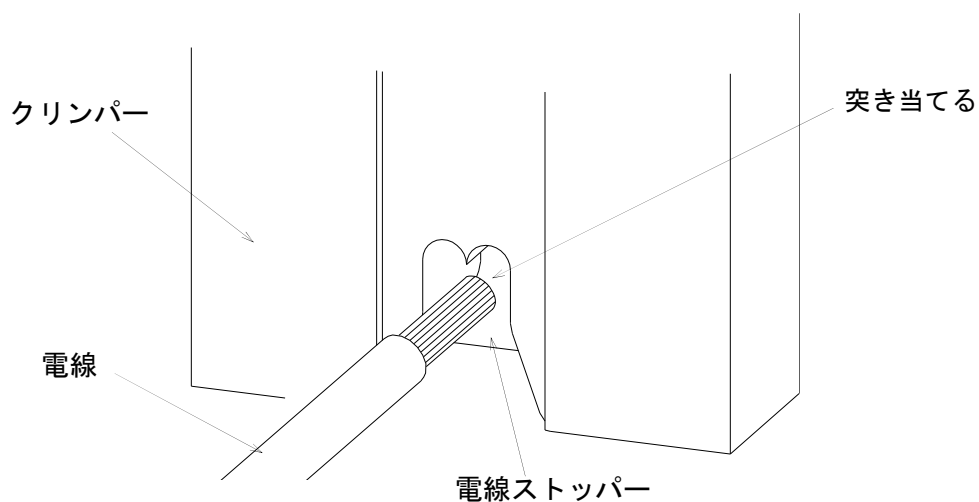


図-8

4) 圧着

挿入した電線とコンタクトがずれないようにしながら、ハンドルを徐々に締め付けます。
ラチェットが外れるまで締め付けて下さい。これで圧着は完了です。(図-9, 10 参照)

注) 圧着終了後もハンドルを手で開いて下さい。

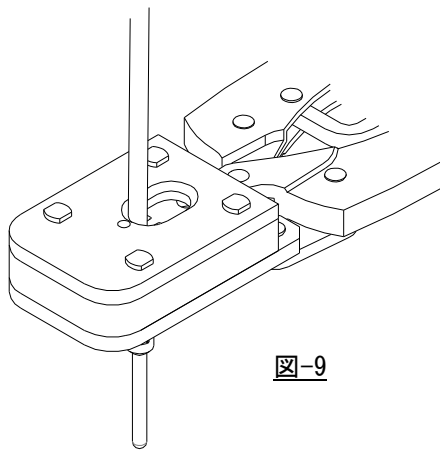


図-9

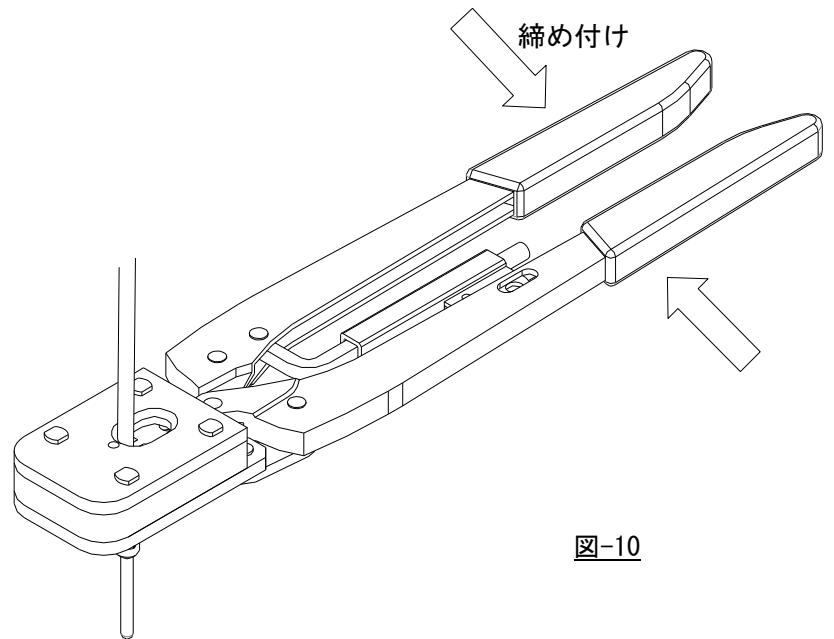


図-10

5) コンタクト取り外し

ハンドルが開放されている状態で、ランスがロケータに当たらない様に電線を持ち上げて取り出してください。

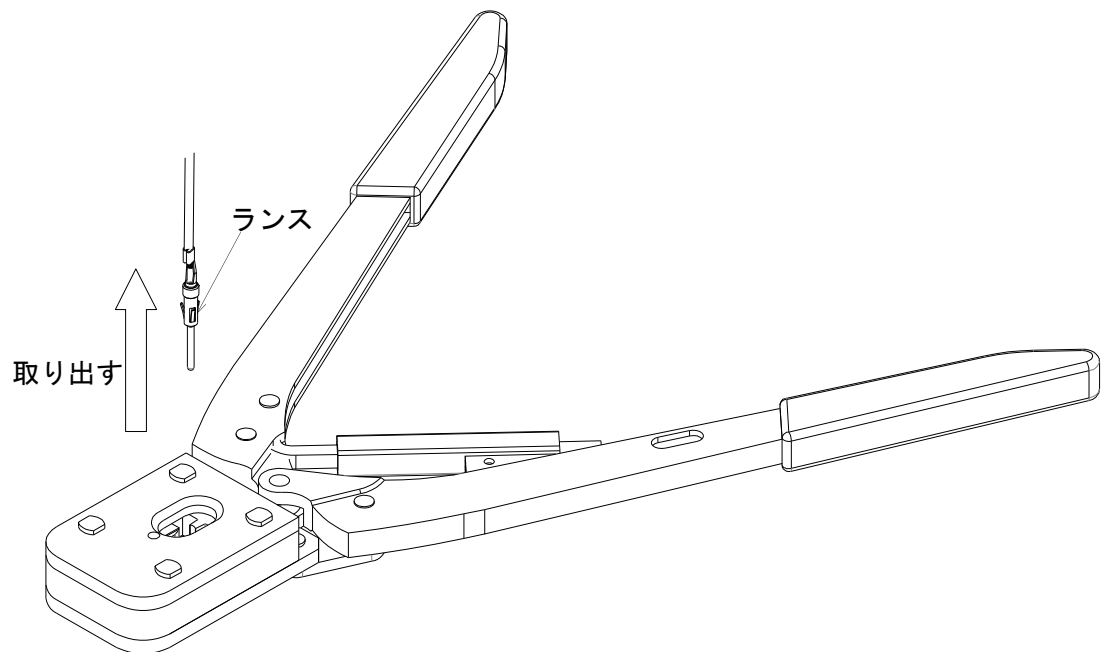


図-11

6. 管理項目

6-1. 外観チェック

圧着不良品の判定規準

- ・芯線先端が芯線バレルより出していないもの。(図-12 参照)
- ・外被が芯線バレル内に挿入されているもの。(図-13 参照)
- ・芯線がバレルからはみ出ているもの。(図-14 参照)

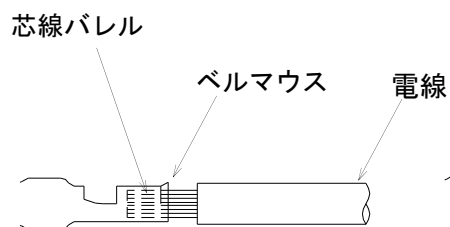


図-12

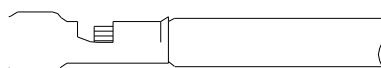


図-13

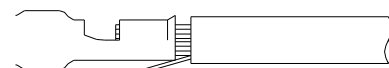
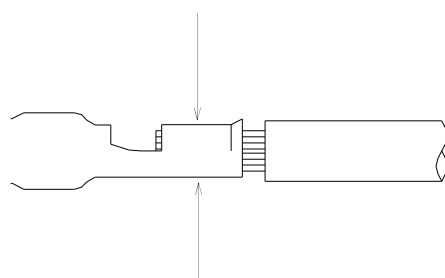


図-14

6-2. クリンプハイト測定

1) クリンプハイトの測定位置

※測定は、ブレードポイントマイクロを使用して下さい。



クリンプハイト測定位置

図-15

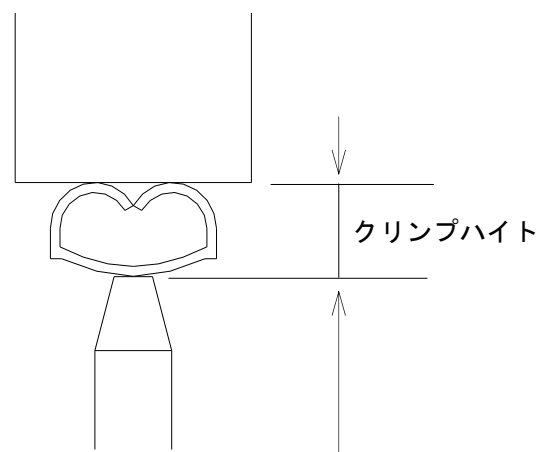


図-16

2) クリンプハイト規格

表-2

コンタクト品名	検査基準クリンプハイト (mm)
CE01-#16P-1416	1.80±0.04
CE01-#16S-1416	

7. メンテナンス

- ・保証期間は1年間です。
- ・故障の際、弊社にて修正を行いますので、ハンドツールごと営業に渡して下さい。